



令和7年7月号②
宇部市立川上小学校

全校375名 14学級



あいさつは「自分から」「遠くから」「心から」

朝、校長室にいと、早めに登校した子どもたちによる、あいさつ運動をしている声が聞こえてきました。あいさつ運動週間は6月末に終わりましたが、その後も自主的にあいさつ運動を取り組んでいる子どもがいました。

よく声を聞いてみると、あいさつは子どもだけでなく、出勤してくる教職員にもしていました。さらに「あいさつプラス一言」の声掛けをしていた子どももいました。朝から元気の良い、大きな声であいさつをしてくれる子どもたちは、とても気持ちがよいものでした。

この他にも、私が横断歩道で交通立哨をしている姿を見て、横断歩道の向こう側から大きな声であいさつをする子どもや、止まってくれた車に会釈を返す子どもなど、感じがよい印象を与えてくれる子どもの姿を見かけることがあります。

その一方で、あいさつが大事だと頭ではわかっているけれども、自分からはあいさつをしない子どももいます。「相手があいさつを返してくれなかったら嫌だな。」という気持ちからでしょうか。また、「不審者に気をつけよう。」とか、「知らない人にはついて行かない。」等の学校の指導が心に響きすぎて、地域で出会った人に声をかけることに対してためらいが生じているからでしょうか。



あいさつの語源は「一挨拶(いちあいいつさつ)」であり、禅宗の問答に由来した言葉です。「挨拶」は心を開いて近づく、「挨拶」も同様に、迫る、近づくという意味があります。つまり、あいさつは「心を開いて相手に近づく」という意味です。「自分から」「遠くから」「心から」あいさつができることは人間本来の姿です。また、社会の秩序の基であるという考え方に由来するあいさつは、昔から日本人が大切にしてきた素晴らしい伝統です。



そこで私は、保護者や地域の方からも、今後も積極的に子どもたちに声をかけていただきたいと思っています。近所の人や保護者から気持ちのよいあいさつをかけられれば、きっと子どもの内面も変わってくるはずです。人間関係のスタートとなるあいさつは非常に重要であり、将来、社会の一員として生きる子どもたちにとって必要不可欠な力となります。学校でも引き続き指導をしていきますので、学校と保護者、地域が一丸となって、お互いのあいさつが響き合う、気持ちのよい川上地域をつくっていきましょう。

最後になりますが、一学期の間、大変お世話になりました。2学期以降も本校の教育活動にご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

校長 柳本 広和

8月の予定

日	曜	行事予定
25	月	始業式 大掃除 教科書配付
26	火	4時間授業 成長測定1.2年 給食開始
27	水	4時間授業 成長測定3.4年
28	木	成長測定5.6年 委員会活動
29	金	6年防災出前授業

「亀」のスケッチ大会

飼育委員会が企画した「亀のスケッチ大会」が、4日間行われました。自由参加でしたが、多くの子ども達が参加して、真剣な表情でスケッチをしていました。さて、どんな絵が仕上がったのでしょうか。



スケッチした絵は大判用紙に貼って、全校の人が鑑賞できるように掲示するそうです。

9月の予定

日	曜	行事予定
1	月	1.2年視力検査
2	火	3・4年視力検査
3	水	避難訓練(小中合同引渡し訓練)
4	木	読み聞かせ
8	月	SC来校(AM)
9	火	1年校外学習ビオトープ
11	木	4年段ボールコンポスト 2年校外学習ビオトープ 第1回三世代FF実行委
12	金	2年社会見学
16	火	5時間授業
18	木	5時間授業
19	金	5時間授業
25	木	4時間授業 個人懇談
26	金	4時間授業 個人懇談
29	月	SC 来校(PM)
30	火	委員会

1・6年でプール開き



6年 海ゴミ調査

2年 はみがき教室



5年 みそづくり

3年 リコーダー教室



4年 みずいく

地域の方々とユニット型授業研究会

6月25日(水)3年道徳科の学習をもとに、よりよい授業づくりについて検討する授業研究会を開きました。学校運営協議会委員も参加され、ユニット型研修として実施しました。研修会では、「伝え合うことを通して学びを深める」ことについて協議しました。

後半は、講師の先生のお話もうかがい、今後の授業づくりに向けて研修を深めることができました。

